

経済産業省の取組

2020年4月16日

教育産業室

遠隔教育・在宅教育普及促進事業

令和二年度補正予算案額 **30.0億円**

商務・サービスG サービス政策課・教育産業室
03-3580-3922

事業の内容

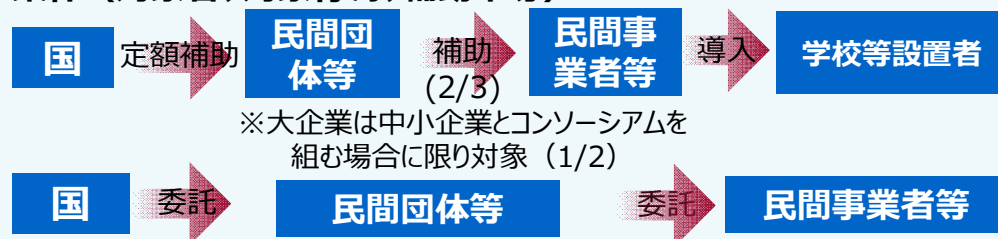
事業目的・概要

- 新型コロナウイルス感染症による休校措置をきっかけに、学校に登校できない環境下で学習環境を早期に構築する必要性が、広く共有されました。
- 経済産業省による休校特別企画「#学びを止めない未来の教室」にも、多数のEdTech（デジタル技術を活用した教育コンテンツ・サービス）提供事業者が参画し、各社が設定したサービス無償体験期間に、EdTechを活用した新しい学び方を体験する生徒・教師・保護者が急増しています。
- 本事業では、こうした機会を活かし、市販のEdTechを用いて学習スタイルの転換を進めたい学校等（学校および一定基準を満たすオルタナティブスクール）への1年程度の導入実証を、学校等による費用負担が生じない形で進めるべく、導入実証を行うEdTechサービス事業者に補助をします。
- 併せて、市販のEdTechの水準を超える、質の高いSTEAM（文理融合型・探究型）オンライン学習教材等の開発を学校・教育産業・大学等研究機関・産業界等のオープンイノベーションによって加速します。

成果目標

- 学校等におけるEdTech導入経費等を対象に、企業補助を行い、次年度以降の継続活用や地域への波及を図ります。
- また、課題解決力・創造性を育むオンライン学習教材の開発を促進し、全国展開を支援します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

(1)市販EdTechの学校等への試験導入支援（令和元年度補正予算（繰越）「EdTech導入実証事業」の拡充）

（導入サービス事例のイメージ）

- デジタルドリル型問題集
1人1台端末環境で、生徒の学習履歴に基づき、アルゴリズムにより個々の生徒の理解度に合わせた問題を提示。教員の業務負担軽減を同時に実現。
- 協働学習・反転授業支援ツール
生徒がお互いの回答を一覧で閲覧できたり、教員が生徒の学習状況をリアルタイムに把握しながら、一斉授業だけでなく、協働学習、反転授業を実現。
- プログラミング教育支援ツール
Webデザインやプログラミング等を、ソフトウェア中のガイダンスに従いながら学ぶことができ、また、1人の教員が複数の生徒を同時に指導することが可能。



デジタルとアナログの組み合わせをしながら授業を進めることが可能



生徒がお互いの回答を一覧で閲覧・コメントし、協働学習等が可能



キャラクターの指示に従うことで個別に学習を進める事が可能

(2)更に良質な学習コンテンツの開発（令和2年度当初予算「学びと社会の連携促進事業」の拡充）

- 市販のEdTechの水準を超えた、質の高いSTEAM（文理融合型・探究型）オンライン学習教材等の開発を、学校・教育産業・大学等研究機関・産業界のオープンイノベーションによって加速する。

（イメージ）

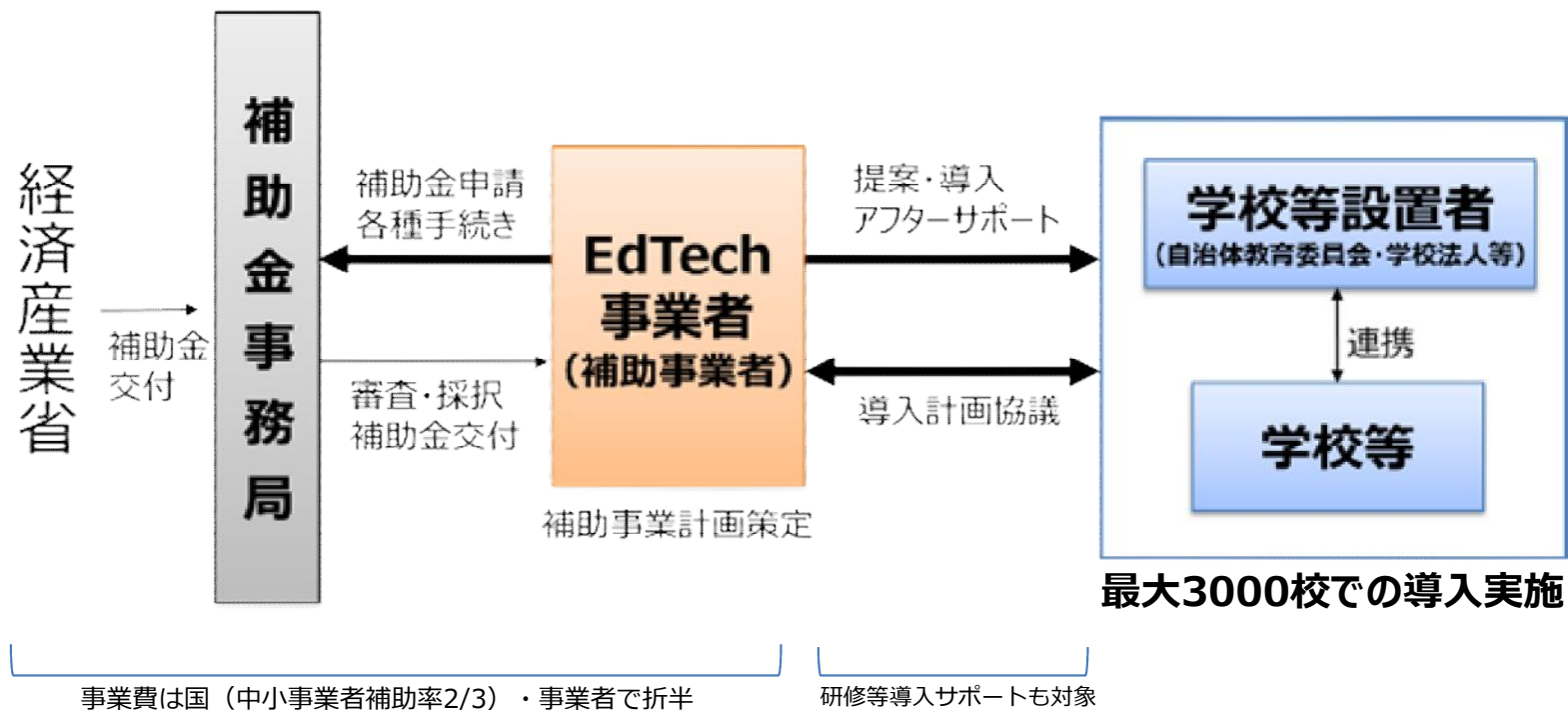
- 先端科学や社会課題等の探究課題に関する解説動画や教師・外部講師による講義資料の共有、様々な学校に所属する生徒達による意見の書き込みやプレゼンテーション共有による協働型の探究学習プラットフォームの構築等



1. EdTechの学校等への試験導入支援 (令和元年度補正予算(繰越)「EdTech導入実証事業」の拡充)

- 学校等教育現場にEdTechを導入する事業者に対してその経費を補助する制度
- 自治体等の学校設置者は費用負担が不要
- 学校は、年度末までの長期間、EdTechトライアルを費用負担なく実施可能

【スキームイメージ】



デジタルドリル・協働学習支援ツールや、プログラミング必修化に対応するプログラミング教育支援ツールなど、多様なEdTechソフトウェア・サービスの導入

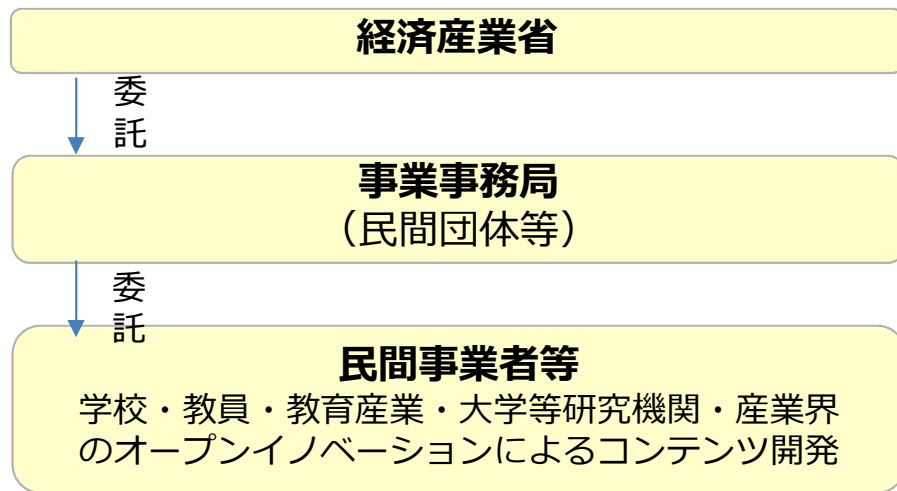
※制度詳細は、EdTech導入補助金ポータルサイト <https://edtech-hojo.jp/> にて掲載→



2. 良質なオンライン学習コンテンツの開発（令和2年度当初予算「学びと社会の連携促進事業」の拡充）

- 休校措置等の緊急事態に対応し、プログラミング等の新しい学びを推進していくには、在宅教育を支えるオンラインツールを活用した発展的な学習プログラム（STEAM(文理融合型・探求型）コンテンツ）の開発が急務。
- そのため、学校教員・教育産業・研究機関・産業界の連携によるコンテンツ開発を支援。併せて、協働型の探求学習プラットフォームを構築。

【スキームイメージ】

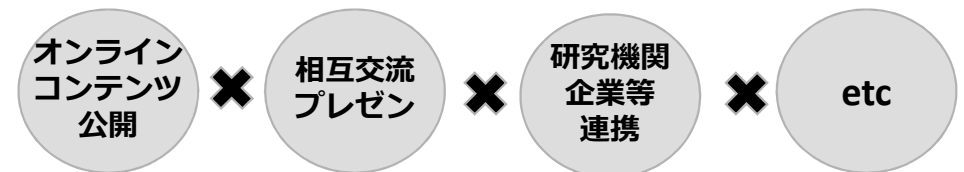


(参考) 開発コンテンツのテーマ例



【協働型の探求学習プラットフォームの構築】

- 学習コンテンツ公開のみならず、学びの成果発表や相互交流など、多様な機能を持つプラットフォームの開発を図る



(参考) 米国の公共放送PBS運営のMOOCsライブラリー
→社会の実課題等をテーマに、解説動画や指導案、対応単元などが網羅



以下、参考資料

企業による学習サービス無償提供と、経産省まとめサイトの開設

- コロナ休校を受け多くのEdtech事業者がオンライン学習サービス等の無償提供を開始。
- 経産省としても無償キャンペーンの設定を呼びかけつつ、「未来の教室」ホームページに特設サイト「#学びを止めない未来の教室」を開設。（2月28日）



「学びを止めない未来の教室」で紹介中の学習サービス（例）

- 4月8日時点で、61取組の情報を掲載済み。

【Google】

Chromebook LTE／G Suite

- 学校への提供
- 無料（春休みが終わるまでの期間）

https://edu.google.com/intl/ja/?modal_active=none



詳しくはこちら



【株式会社Libry】

スマートに学べる問題集「リブリー」

- 学校への提供
- 無料（春休み期間終了（2020年4月上旬）まで）

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000054682.html>



【ワンダーラボ株式会社】

「Think!Think!（シンクシンク）」

- 個人への提供
- 無料（2020年3月1日～3月31日）

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000047.000012970.html#this-week>



詳しくはこちら



【葉一】

YouTubeチャンネル「とある男が授業をしてみた」

- 個人利用・学校利用（両方）
- 無料（個人情報の登録も必要なし）

<https://www.youtube.com/user/toaruotokohaichi>



詳しくはこちら



【Z会グループ】

「公式YouTubeチャンネル」

- 個人への提供
- 無料（2020年4月30日まで）

<https://www.youtube.com/zkaipr>



【株式会社ドワンゴ】

オンライン学習アプリ「N予備校」

- 個人への提供
- 無料（3/1～（終了時期未定））

<https://nnn.ed.jp/news/blog/archives/10023.html>



詳しくはこちら



【tanQ株式会社】

「タンキューオンラインスクール」

- 個人利用・学校利用（両方）
- 原則無料（2020年3月2日（月）～3月20日（金）／一部有料もあり）

<https://www.tanqfamily.com/tanqschool>

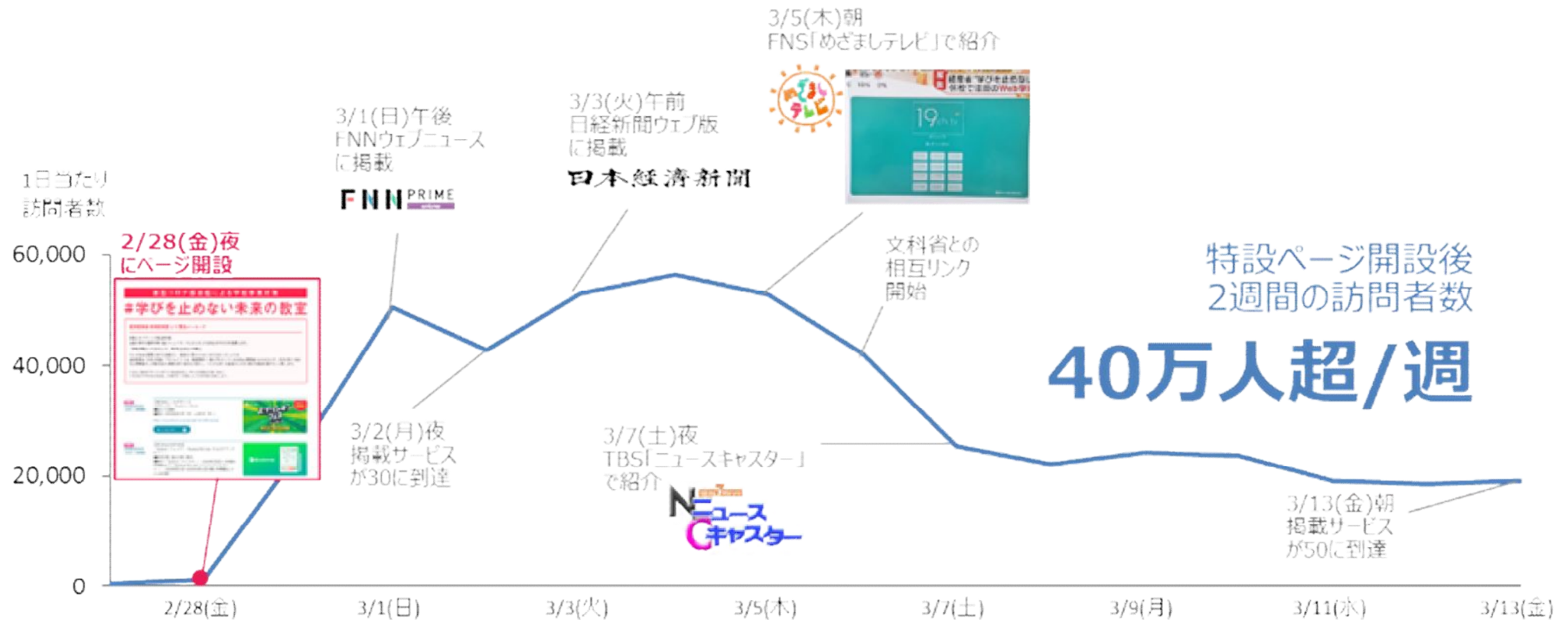


詳しくはこちら



「学びを止めない未来の教室」の反響

- 特設ページ開設2週間で40万UUのアクセス。現在まで、60万UU*・200万PVを達成
- 教育以外のメディアでも紹介され、多くの露出を獲得
- Facebook、twitterなど各種SNSでも著名人の書き込み等で話題に



*2週間にサイトを訪問した人数、PV数と異なり、同じユーザは対象期間に何度見ても増えない

「学びを止めない未来の教室」の反響

- EdTechのニーズ喚起を通じて、掲載企業への問い合わせや導入事例が増加。
- 個人の利用だけでなく、学校からの問い合わせ・導入相談も多数発生。
- 3月末開設の「未来の教室」LINE公式アカウントは1週間強で5万人のフォロワーを獲得

○各掲載企業の反響例

【(株)COMPASS】

算数・数学AIドリルツール「Qubena」は、自治体学校向けについては30件程度の申込があり、23,000人分の無償アカウントを発行。個人向け申込も通常月から数千件増加。

【IGS】

“学校向けオンライン英語教材「e-Spire」は、40校以上の問い合わせがあり、既に19校(3,000名以上)が使用中”

【学研プラス】

“個人向け学習システム「ニューコース学習システム」のID発行数は、約55,000超/週。当初想定していた無償発行システムがパンクし、システムを組み直したほどの反響。

【城南進学研究社】

“学校向け学校システム「城南コベッツ」は3校に導入済。副次的な効果として、「デキタス」の体験利用が通常の10倍に。”

【(株)ライフイズテック】

プログラミングソフト「テクノロジー魔法学校」の個人向け無償利用申込が1週間で1万人を突破。

○「未来の教室」LINE公式アカウント



各種情報を公開・配信するLINEアカウントを開設。

開設から1週間強で、保護者や生徒を中心に5万人のフォロワーを獲得。

※未来の教室ポータルサイトと連動し、「学びを止めない」コンテンツ以外にも、多様な情報を掲載



「学びを止めない未来の教室」の趣旨に賛同した教育委員会等

- 教育委員会や、県の教育情報センター、学校HP等において、「学びを止めない未来の教室」のバナーを貼り、学校におけるEdTech活用を加速させることが必要ではないか。

＜岡山県総合教育センター＞

岡山県総合教育センター

[トップ](#) > [「臨時休校中の家庭学習支援」リンク集](#)

● [学習支援コンテンツやサービス](#)

▶ [学習支援コンテンツポータルサイト（子供の学び応援サイト）（文部科学省）](#)

▶ [学びを止めない未来の教室（経済産業省）](#)

＜新潟市立内野中学校＞

新潟市立内野中学校
自主 切磋 自食 創造

TEL.025-262-3161
〒950-2151 新潟市西区内野1-10-1

HOME | 教育方針 | 教育内容 | 学校案内 | 特色ある活動 | 法人よりの紹介 | 法人よりブログ | ニュース・出来事 | お問い合わせ

PTA会 | 中野地区の国・市立校 | 行事予定 | 感染症予防対策

トクメ・ニュース > 学びを止めない未来の教室

ニュース

学びを止めない未来の教室

臨時休校により、各家庭の学習環境の準備・整頓ができていない状況です。各家庭において、子供らが「自主」「切磋」「自食」の力を発揮して、自ら学習課題を認識し、粘り強く自主学習に取り組んでいくことを期待しています。

経済産業省では「学びを止めない未来の教室」として、ICTやタブレット端末等を用いた学習を推進してきていると発表しています。この取組の推進について、各校で取り組んでください。

カテゴリ：17年度、21年度、22年度、学校 | 2020年3月31日
文部科学省より「臨時休校中の家庭学習支援」リンク集

最近のニュース

- ▶ 令和元年年度決算・報告書について
- ▶ 学年・学期別学習状況の把握
- ▶ 新潟市立内野中学校の新型コロナウイルス感染症対策について（市教育委員会）
- ▶ 身体を動かそう！
- ▶ 家庭学習について

＜久留米市立教育委員会＞

久留米市教育委員会

新型コロナウイルス感染症による学校休校対策

「学びを止めない未来の教室」の紹介

経済産業省より 緊急メッセージ

新型コロナウイルス感染症対策。

全国の学校の臨時休業が進むでしょうが、そんなときこそ EdTech（エドテック）がその力を発揮します。

「学校が閉まっているからって、学びを止めないで済む」

そんな社会の実現に向けた挑戦だと、前向きに考えたらよいのではないのでしょうか。

経済産業省「未来の教室」プロジェクトでは、実証事業で一緒に汗をかいている EdTech（エドテック）事業者さんのみならず、日本の様々な EdTech（エドテック）事業者さんが動き始めた素数な取り組みをご紹介します。一人でも多くの生徒さんたちに学びの機会を届けたいと思います。

※ 各社／団体のプライバシーポリシーをお読みの上、サービス利用をご判断ください。

※ 特に個人でご利用される場合、ご家族でよくご相談した上でのご判断をお願いします

経済産業省HP: https://www.learning-innovation.go.jp/covid_19/